

40周年、もっと「ときめく」世界に!
ヴァンサンカン

スキンケア総力特集
今こそ大事に
手塩肌
を育てよう

25ans

Share Happiness!
40th Anniversary

9 September 2020 No.492

Magazine Cloud
電子版でも読めます

自分がうっとりする服が欲しい

ドリーミィ スタイル

いつも一緒の
ポジティブダイヤ

エレ女の「車ライフ」

25ansアーカイヴ
ラグジュアリーの歴史を
PLAY BACK

映える!
ZOOMトックス

タカラヅカOG
美のキーワード

早霧せいなさん、朝夏まなとさん他

INTERVIEW
村上虹郎さん

New Dream, New Life

見つめなおして、新しい私

特別取材!
ローラの考える
これからの
暮らし

★心地よさ最優先のお散歩服 ★最新ワークアウトスタイル ★この服でアフタヌーンティーを
★スターパティシエ直伝レシピ ★グリーンのある毎日 ★ビギナーのためのアート指南 etc.

ファビアーニ美樹子さん

Profile

ファビアーニ・みきこ ● MIKI FINE ARTS 代表取締役。成城大学で西洋美術史を専攻。老舗画廊に勤務の後、筑波大学大学院にて芸術教育学を研究。フランスの画商一族の長男との結婚を機にパリへ渡りアートディーラーとして活躍する。



すぐに取り入れたいエッセンスがいっぱい! 自分らしい暮らしを叶える 「アートライフ」指南

お気に入りのアートがある暮らしには憧れるけれど、どこでどんな作品を買い、どうやって飾ればいいのか…? そんな初心者のために、パリ在住のアートディーラーファビアーニ美樹子さんに基本の“き”を教えてくださいました。

「好き」を基準に自分らしく アートと暮らす贅沢を

「家で過ごす時間のあり方が見直されている今、アートを購入したいという声は確実に増えています。それはアートが暮らしを豊かにすることに、多くの人が目を向け始めたからでしょう。

では、その選び方は? 何よりも重要なのが純粋に「好き」と感じる作品であること。感性には正解も不正解もありません。周りの意見や評価は気にせず、心がときめく作品を飾って一緒に過ごす。すると新しい魅力に気づくことがあるように、日常に彩りや知的な刺激が生まれるのです。

何が好きなかわからない場合もご心配なく。最近は多くの作家やギャラリーがSNSを活用しています。名前を見聞きしたらフォローして、気になる展覧会があったら出かけてみる。そのように出会いを広げるうちに、徐々に好みが見えてくるもの。

そして、「自分が買うなら…」という視点で鑑賞するのも大切です。それにより作品と真剣に向き合うようになり、好きか否かを見極める直感を磨くことにつながります。

自分の審美眼で選んだ作品で心が満たされる——そんな新しい暮らし、ぜひ始めてみてください。」



Akio Nagasawa Gallery Aoyama

若手も含め国内外の幅広いアーティストを紹介。銀座にもスペースを構え、森山大道をはじめ、世界トップクラスの作品が集結。
Data ● 東京都港区南青山5-12-3
Noirビル2F tel.03-6427-9611
www.akionagasawa.com/
※開廊時間や休廊日はHPで確認を。



ギャラリーためなが

1969年に開廊。印象派以降の近代西洋絵画の逸品を扱う一方で、若い才能を世界のコレクターに発信。パリ、大阪にも画廊が。
Data ● 東京都中央区銀座7-5-4
tel.03-3573-5368
11時~19時(日曜、祝日~17時) 無休
www.tamenaga.com/



PARCEL

現代美術を軸に、多彩なカルチャーや価値観を横断する展示やプログラムを実施。立体駐車場をリノベーションしたユニークな空間も必見。
Data ● 東京都中央区日本橋馬喰町2-2-1 DDDホテル1F
14時~19時(金・土曜~20時)
月・火曜、祝日 parceltokyo.jp/

Q1 どこで買えますか?

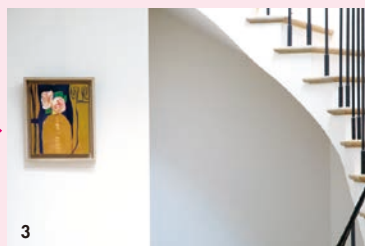
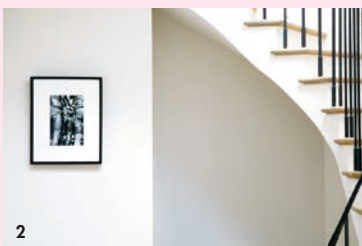
A アートフェアやオークション。最近ではネットでも買えますし、極論、道端でも手に入るのがアートの面白いところ。ただ、作家の来歴に重きを置く場合や、プロのアドバイスを求めるならギャラリーで購入を。左におすすめの3軒をご紹介しますが、ギャラリーは得意分野や個性がさまざま。実際に足を運び、ギャラリストとの会話も楽しみながら、感性に響く一軒を探しましょう。



Q3 センスよくインテリアに取り入れるコツは?

A 同じ作品でも見る環境によって印象が変わりますし、見慣れた部屋がアートで様変わりすることも! たとえ飾るスペースが限られていても、掛け換え、置き換えを前提にすると楽しみが広がります。季節や気分、ゲストに合わせて選ぶのも素敵ですね。また、よく目に入る場所でなくても、空間に余白を見つけたら、ぜひお気に入りのピースを。“少しずつ、自分らしく”を心がけて。

1 ゲスト用の化粧室に写真や陶作品を。色のトーンを揃えると統一感が生まれます。2、3 現代のモノクロ写真と近代の油絵とで、ムードが一変。



書棚のすき間には、竹内瑠璃による手のひらサイズの九谷焼を。

Q2 初めての購入、どんな作品がおすすめ?

A 絵画や写真、立体作品などのメディアは問わず、小さい作品からがいいでしょう。アートはインテリアとは異なるので、置く場所ありきで探すのではなく、自分が「好き」と感じるものを選ぶのが何より重要。その点、小さな作品は、必ず収まる場所が見つかります。